

今、私たちに出来ること

東京都杉並区立松溪中学校

二年 野田 希

今私たちに出来ることは何なのでしょう。私にとって、語らいの場とは相手とコミュニケーションをとり、より楽しい時を過ごすために重要な一つの要素だと思います。しかし現在新型コロナウイルスの影響で場所を選んだコミュニケーションだけでなくソーシャルディスタンスを保った生活が求められています。この状況で私たちはどのようにしてお互いの人間関係を深めていけば良いのでしょうか。

学校では毎年行っている行事が中止となってしまう例年通りではない一学期を迎えました。やはりお互いの距離を保ちながらの会話は難しく、マスクを着用しているため感情表現に苦戦しました。ですが、今だからできる新しい友達も増えました。距離をとっているからこそ相手の意外な一面に気がつくことができるのです。学校が始まってからマイナスなことばかり考えていた私は「今だから出来ること」を考えるようになり、気持ちはプラスの方向に向きました。

そして賑わいが失われているだろう語らいの生まれる場所を私たち自身で守る必要があると思います。もしその場所がなくなってしまうたら、友達だけでなく地域の人との交流が減ってしまうからです。そのために私は、感染予防対策を徹底したいと思います。また語らいの場に関わらず暗い気持ちになっている方や、この状況下で一生懸命働いてくれている方に感謝を伝えたいです。

私は以上のことを踏まえて人間関係を深めるためにお互い距離はとっているけれど、心の距離を縮める必要があると思います。自分が置かれた環境を憎むのではなく、その環境に合った考え方や工夫をしていきたいです。